

臨床医からみた地域医療情報連携の 現状と将来展望

東北大学 脳神経外科

一般社団法人 宮城県脳卒中ネットワーク 事務局幹事

一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会 事務局長

清水宏明

本日のテーマ

- **地域医療情報連携の必要性と意義**
- 宮城県の脳卒中パス/DBネットワーク
 - 一般社団法人 宮城県脳卒中ネットワーク
- 宮城県の医療福祉情報ネットワーク
 - 一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会
- 臨床医が希求する情報連携の形・成果

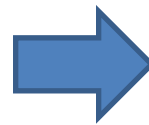
医療をめぐる状況と問題

- 現状/近未来の問題

- 人口構造の高齢化：医療費増加
- 人口減少
 - 経済成長率低下→許容医療費の限界
 - 生産年齢人口減少→医療従事者数に限界

- 医療のあるべき姿

- 質の高い医療
- 国民誰にも公平
- 最小のコスト



実際には
“Cost, access, quality---
pick any two”

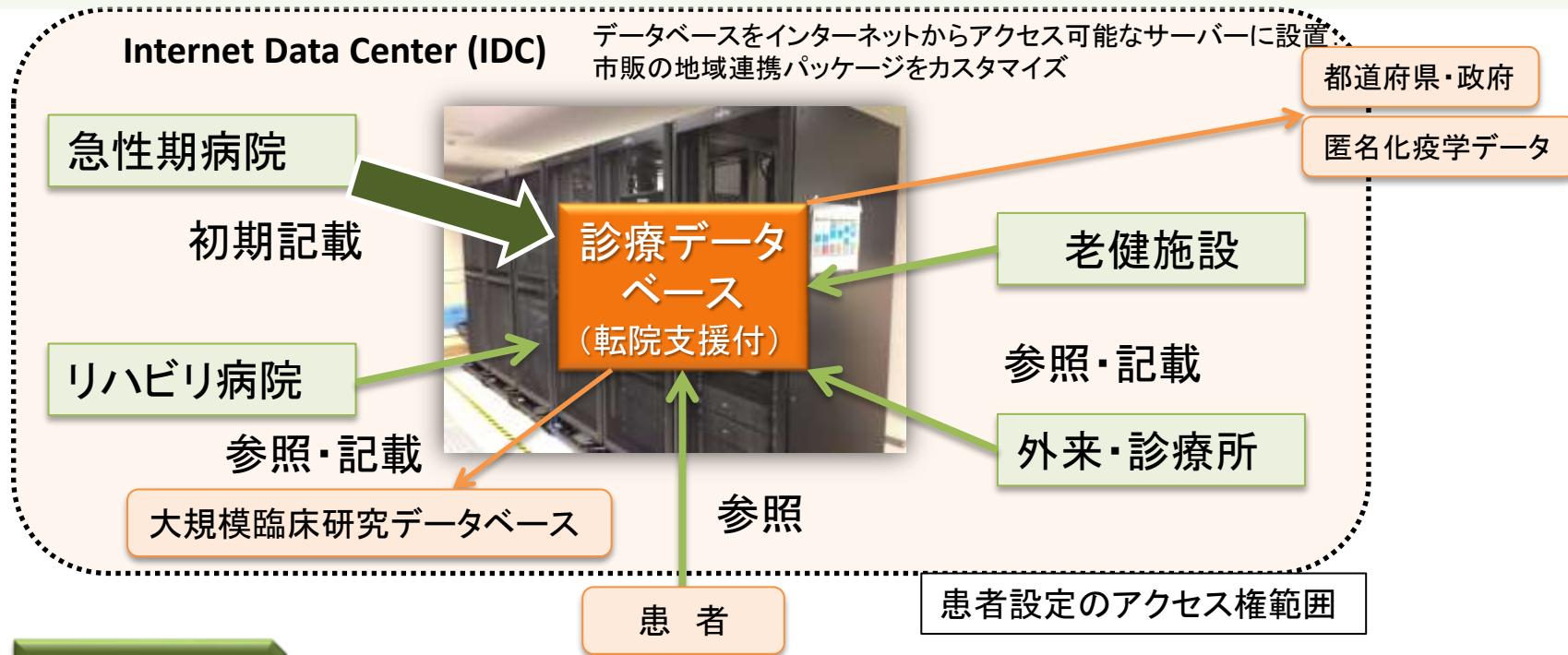
- あるべき姿のバランスと問題への対処の鍵

- 効率化→ICT化

本日のテーマ

- 地域医療情報連携の必要性と意義
- 宮城県の脳卒中パス/DBネットワーク
 - 一般社団法人 宮城県脳卒中ネットワーク
- 宮城県の医療福祉情報ネットワーク
 - 一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会
- 臨床医が希求する情報連携の形・成果

スマイルネットの概念図・機能



5つの機能

1. オンライン脳卒中地域連携パス
2. 脳卒中急性期・回復期・維持期の院内データベース
3. 脳卒中急性期・回復期・維持期のオンライン共有データベース
4. オンライン転院申込・受入
5. 診断書作成ソフト(ニッセイ情報 MediPapyrus®)の利用
6. 連携パスやデータベースの二次利用

定期ユーザーズ・ミーティング

▼使用してみて感じた メリット

- ・スピーディーかつスムーズに患者情報を得ることができる
- ・転院依頼元病院を待たせる事無く受入可否の返答ができる
- ・患者受け入れに関する病院間の連絡がやりやすい
- ・医師の業務が軽減された
- ・転院作業の確実性が向上した(パスの紛失・消失が皆無)
- ・脳卒中地域連携パス(紙ベースのパス)よりも早く連携パスを作成できる
- ・紙や電話の使用頻度が下がり、連携室の転院業務の効率化につながった
- ・転院直前の病状の事前把握が可能になった



▼使用してみて感じた デメリット

- ・電子カルテと重複する入力項目があり、非効率
- ・院内全体のパスワード管理が面倒
- ・一部の情報が不十分
- ・院内NWの仕組み上、HIS端末で使えないのが不便(台数が不足)



顔の見える連携の場を提供するツール

本日のテーマ

- 地域医療情報連携の必要性と意義
- 宮城県の脳卒中パス/DBネットワーク
 - 一般社団法人 宮城県脳卒中ネットワーク
- 宮城県の医療福祉情報ネットワーク
 - 一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会
- 臨床医が希求する情報連携の形・成果



一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

Miyagi Medical & Welfare Information Network: MMWIN (エムエムウィン)

設立経緯

- 2011年11月15日 任意団体MMWIN設立
- 同時期、H23年度第三次補正予算成立
総務省・東北地域医療情報連携基盤構築事業(石巻・気仙沼圏)
- 2012年6月7日一般社団法人化
厚労省地域医療再生計画においても総務省事業との連携



設立総会(2011.11.15)

県医師会長

県医療整備課

東北大学
医学系研
究科長

県医師会副会長

SmileNet理事長

アドバイザー
田中博教授

宮城県医療の現状と課題

- 震災による甚大な医療被災からの復興／地域医療再生計画
- 少子高齢化社会・医療過疎に対応する包括的地域医療福祉連携
- 東北メディカルメガバンクプロジェクト

Build Back Better!
～よりよい医療再建を

MMWINの目指すもの

- **ヒューマンネットワーク**の形成:これからの医療に対する意識・価値観の共有
- **災害に強靭**な医療福祉情報ICTネットワークの**システム構築**
- ICT化による**地域医療の効率化・質の向上・均霑化**
- **介護・在宅医療**の推進・活性化

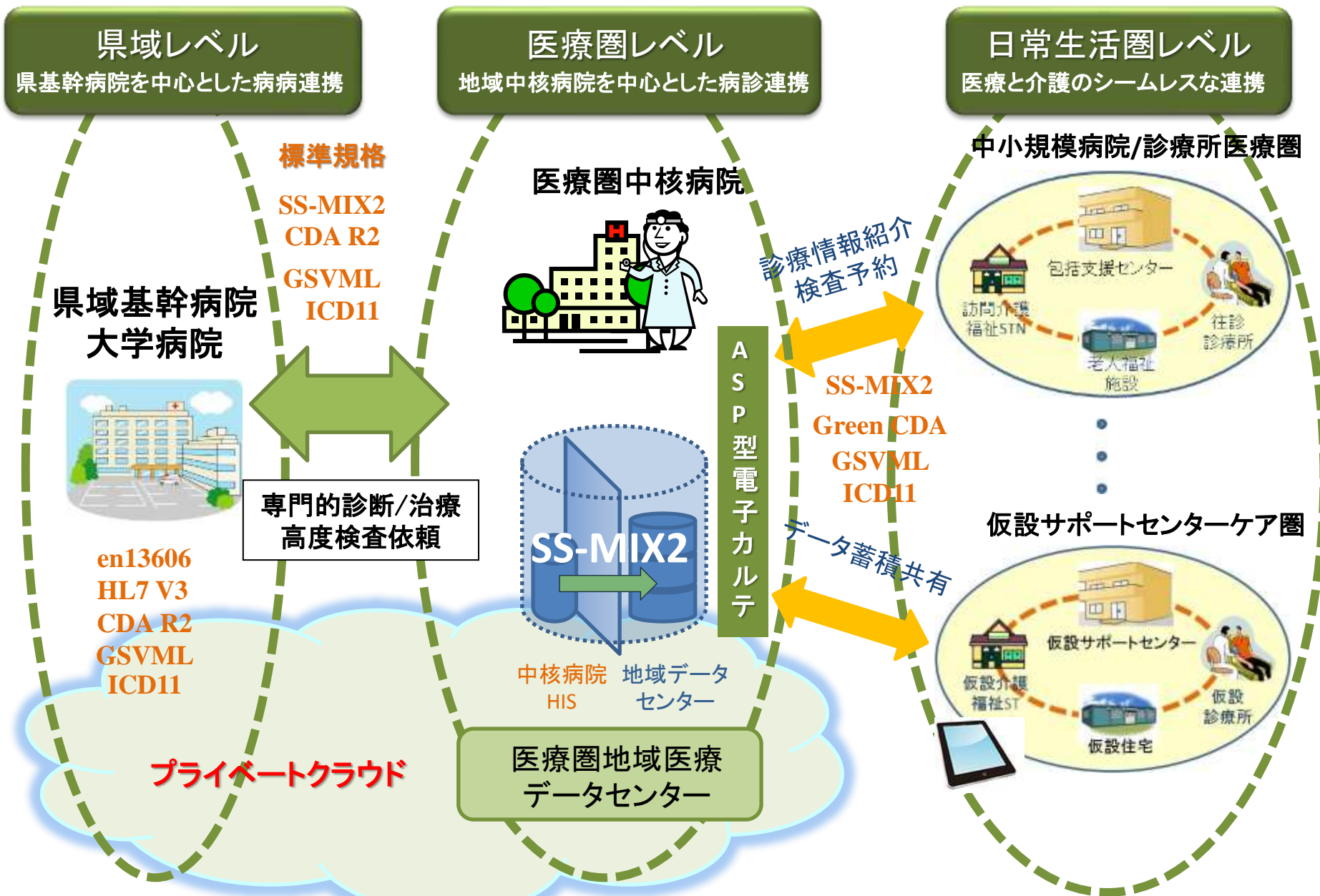
医療従事者の
負担軽減

住民医療サー
ビスの向上

オールみやぎ体制で
医療福祉情報ICT化・
連携の“宮城モデル”
を構築・発信

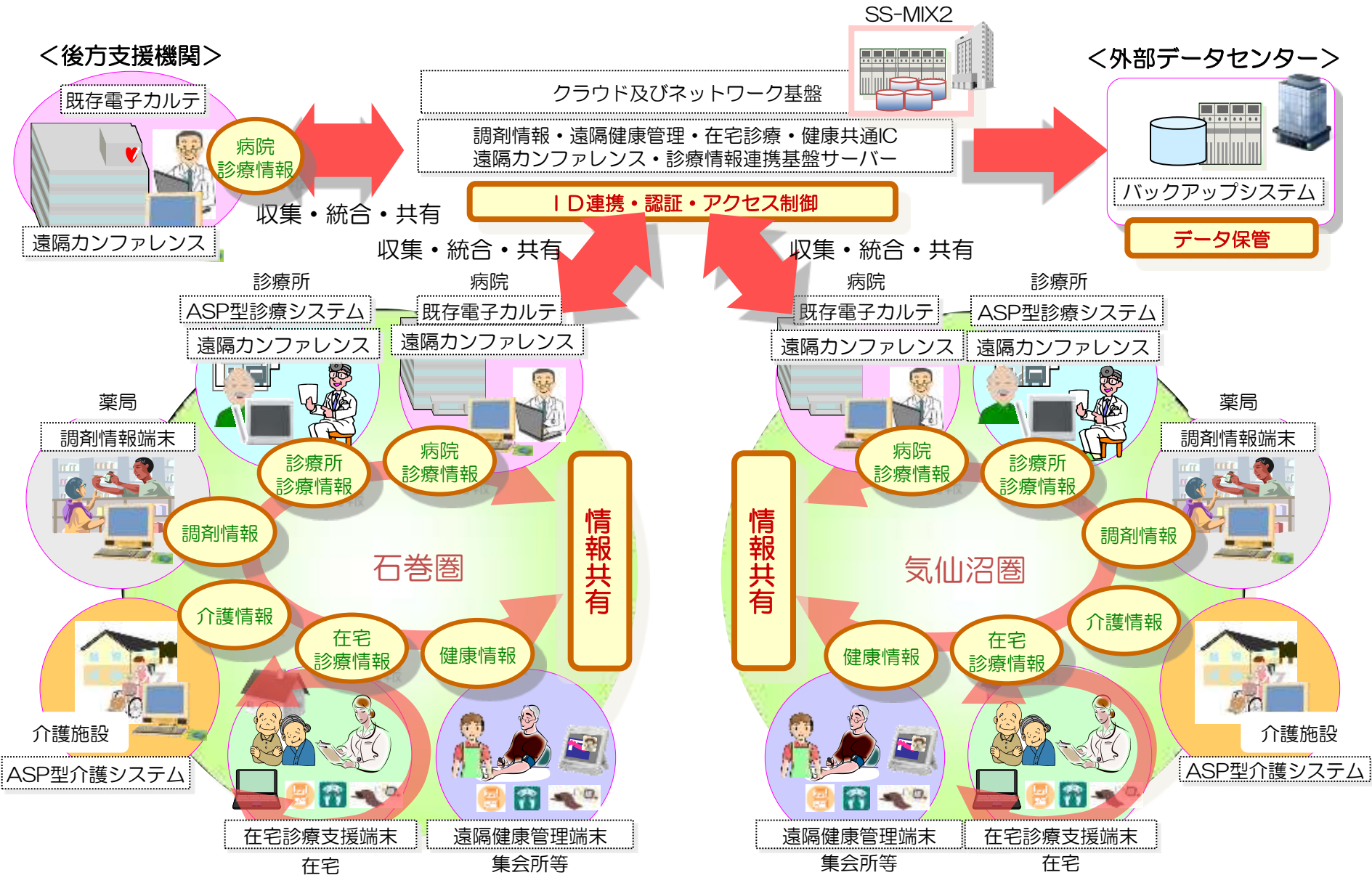


地域医療福祉情報連携基本コンセプト: みやぎモデル



石巻・気仙沼圏システムの全体イメージ

医療・介護情報の双方向情報連携を実現



患者さん向けパンフレット

「みやぎ医療福祉情報ネットワーク」に加入すること

病院でのメリット

- 受診歴や病歴などを迅速で、正確に把握してもらえる
- 重複検査を防止でき、負担を軽減できる



病院

地域全体で
あなたの健康を
見守ります

介護福祉施設でのメリット

- 病院などで診療が必要になった場合でも生活や日常ケアの状況が正確に伝わる



介護福祉施設

(診療所)

- 正確に伝わる
- 紹介された病院を遠院した後もかかりつけのクリニックで正確に診療内容を把握してもらえる



みやぎ医療福祉情報ネットワークとは？

宮城県内の医療機関、介護福祉施設や保険薬局などで扱われる、診療情報や介護福祉情報などを電子化し、遠隔保存・共有することで、安全で質の高い医療や介護福祉サービスを皆様にご提供するためのシステムです。万一の災害・事故においても、二度と情報を失うことなく医療介護福祉支援ができます。患者さん中心の一貫した診療・介護の実現を支えます。

患者さんの医療情報・介護福祉情報は高度なセキュリティ技術および厳格なシステム運用体制で守られています。

ご入会の流れ



Ｑ＆Ａ よくあるご質問と回答

- | | |
|---|---|
| <p>Ｑ 加入・退会はどうしたら良いですか？</p> <p>Ａ ご加入は、各医療機関に設置しております加入申込書にご記入いただき、ご郵送ください。退会を希望される場合は、サポートセンター（022・399・6880）にお問い合わせください。</p> | <p>Ｑ 利用料などかかりますか？</p> <p>Ａ 該ネットワーク加入において、利用料はかかりません。無料でご加入いただけます。</p> |
| <p>Ｑ 個人情報保護は確保されますか？</p> <p>Ａ 患者さんの医療情報、介護福祉情報は高度なセキュリティ技術および厳格なシステム運用体制で守られています。また、医療機関や介護福祉施設を共有するかどうかは、遠隔ごとに患者さんご自身で選択していただくことができます。詳しくは、取扱説明書ホームページをご覧ください。</p> | <p>Ｑ 宮城県内すべての医療介護福祉施設で、医療情報や介護情報が共有されるのですか？</p> <p>Ａ 該ネットワークに参加している病院・診療所・保険薬局・介護福祉施設・訪問看護ステーションなどの間で、情報が共有されます。平成25年度より段階的に、平成26年度よりほぼ全県、27年度より宮城県全域の該ネットワーク参加施設で利用できます。</p> |

参加医療機関や施設、加入申し込みの方法などの詳細は、スタッフにお尋ねいただくか、以下へお問い合わせください。

一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会・事務局

〒980-4633 仙台市青葉区大青1-1-6 宮城県民会館5階

サポートセンター電話番号 022・399・6880

みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会（事務局）

※平成25年度より10月1日開始の開催です。

みやぎ医療福祉情報ネットワーク加入のご案内

宮城県27市町村から宮城県内全域がつながります



いつでも、どこでも、安心できる
**医療介護福祉が
便利に受けられます。**

あなたの健康を支える情報ネットワークサービスが
はじまっています。ぜひ、ご加入ください。

加入申込で



カードを取得



くわしくは、中面をご覧ください。

仙台圏医療介護福祉情報交換会(仮称)のご案内

初秋の候、皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、日本医療マネジメント学会地域医療委員会の指導の下、宮城県医療連携実務者協議会を立ち上げましてから5年目を迎えております。おかげさまで連携実務者の皆様には大変好評をいただいております、また、日々の連携実務に活かされていることと思います。

この度、宮城県医療連携実務者協議会では、県内医療圏ごとに「医療介護福祉情報交換会(仮称)」を立ち上げ、多職種連携実務者の方々を対象に、地域医療連携や、医療介護福祉連携についての学習会や情報交換の場となり、各地域での医療介護福祉連携の“顔の見える連携”の場になればと考えております。

今回、下記の通り、「仙台圏医療介護福祉情報交換会」を開催いたしますので、お忙しいとは存じますが、何卒ご出席いただきますようご案内いたします。

記

地域	開催日	開催時間	開催場所
仙台圏(西部)	平成25年10月11日(金)	18:30~20:00	仙台市医師会館5階 仙台市若林区舟丁64-12
仙塩ベイエリアネットワーク実務者協議会(仙台圏東部)	平成25年10月18日(金)	19:00~20:30	赤石病院 塩釜市花立町22-42
仙台圏(北部)	平成25年10月23日(水)	19:00~20:30	成田公民館 黒川郡富谷町成田1-1-1
仙台圏(南部)	平成25年10月28日(月)	19:00~20:30	総合南東北病院 岩沼市里の杜1-2-5

対 象： 医療連携実務者、医療介護福祉分野に携わる方または関係している方、興味のある方。
職種例(医師、看護師、MSW、事務職、介護福祉士、薬剤師、保健師、ケアマネージャー、行政職、地域包括支援センター、医師会等)

本日のテーマ

- 地域医療情報連携の必要性と意義
- 宮城県の脳卒中パス/DBネットワーク
 - 一般社団法人 宮城県脳卒中ネットワーク
- 宮城県の医療福祉情報ネットワーク
 - 一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会
- 臨床医が希求する情報連携の形・成果

臨床医が希求する情報連携の形・成果

- 施設内で (---> DWH)
 - 診療支援
 - 医療安全
 - 統計・臨床研究とのリンク(効率化)
- 施設間で
 - 効率的で正確な情報共有(最小の手間)
 - 患者状態の把握
 - 地域医療の透明性・質の向上
 - 顔の見える関係構築の1ツール(潤滑油)
- 地域・国で
 - 疫学情報・医療施策
 - 医療産業

まとめと課題

- 人口高齢化、医療福祉の人材の限界、医療の専門化、医療費高騰などを背景に、情報ネットワークは必須の医療福祉基盤である
- 宮城県、日本、世界で医療福祉情報ネットワーク構築が進んでいるが、発展途上である
- 医療情報の連携は、日常的情報共有、DWHとしての活用、医療安全への貢献、地域医療の透明性と質の向上、顔の見える連携の場を作るツールなどの役割が期待される。